

第一章

見立ての高麗茶碗

狂言袴・三島・刷毛目・粉引・堅手・雨漏堅手・
雨漏・井戸・井戸脇・蕎麦・斗々屋・柿の蒂・
玉子手・熊川・呉器・高麗・割高台

刷毛目茶碗 銘合甫 38
刷毛目茶碗 41
刷毛目茶碗 銘水鳥 京都・裏千家今日庵蔵 44
刷毛目茶碗 銘山路 50
無地刷毛目茶碗 53
無地刷毛目茶碗 銘千鳥 56

狂言袴茶碗 銘藤袴 愛知・徳川美術館蔵 10

粉引茶碗 銘楚白 石川県立美術館蔵 60

礼賓三島茶碗 銘四皓 三重・諸戸財団蔵 14

粉引茶碗 三好粉引 東京・三井記念美術館蔵 64

三島桶茶碗 愛知・徳川美術館蔵 17

粉引茶碗 銘塞翁 滋賀・MIHOMUSEUM蔵 68

三島茶碗 上田曆手 東京・根津美術館蔵 20

粉引茶碗 銘有来 72

三島茶碗 二徳三島 東京・三井記念美術館蔵 24

堅手茶碗 銘長崎 東京・根津美術館蔵 80

三島茶碗 三作三島 28

堅手茶碗 銘寒紅梅 金沢市立中村記念美術館蔵 83

三島茶碗 31

三島茶碗 銘漣波 34

雨漏堅手茶碗 東京・根津美術館蔵 86

青井戸茶碗 銘宝樹庵 石川県立美術館蔵 144

雨漏茶碗 銘蓑虫 東京・根津美術館蔵 89

青井戸茶碗 柴田井戸 東京・根津美術館蔵 148

雨漏茶碗 福岡市美術館蔵 92

青井戸茶碗 竹屋井戸 銘何陋 152

大井戸茶碗 銘喜左衛門 京都・大徳寺孤篷庵蔵 96

井戸脇茶碗 銘長崎 大阪・湯木美術館蔵 156

大井戸茶碗 銘筒井筒 100

蕎麦茶碗 銘玉川 164

大井戸茶碗 銘細川 東京・畠山記念館蔵 104

蕎麦茶碗 銘花曇 168

大井戸茶碗 銘蓬萊 武野井戸 大阪・藤田美術館蔵 108

蕎麦茶碗 銘真如堂 172

大井戸茶碗 銘対馬 大阪・湯木美術館蔵 112

蕎麦茶碗 銘紅葉々 178

大井戸茶碗 銘立華 116

斗々屋茶碗 銘かすみ 東京・三井記念美術館蔵 182

井戸茶碗 石州井戸 銘しののめ 120

斗々屋茶碗 江戸ととや 186

古井戸茶碗 銘老僧 大阪・藤田美術館蔵 124

斗々屋茶碗 銘広島 190

小井戸茶碗 銘六地藏 泉屋博古館東京蔵 128

斗々屋茶碗 194

小井戸茶碗 銘燹噲 岐阜プラスチック工業株式会社蔵 132

柿の蒂茶碗 銘毘沙門堂 東京・畠山記念館蔵 200

小貫入茶碗 銘雄蔵山 大阪・藤田美術館蔵 136

柿の蒂茶碗 銘龍田 204

小貫入茶碗 140

玉子手茶碗	銘糸遊	208
玉子手茶碗	銘玉椿	211
	静岡・MOA美術館蔵	
真熊川茶碗	銘朽木	214
真熊川茶碗	銘花摺	218
真熊川茶碗	銘住乃江	222
真熊川茶碗	銘千歳	226
	東京・五島美術館蔵	
真熊川茶碗	銘草庵	230
熊川茶碗	銘白菊	234
	大阪・藤田美術館蔵	
鬼熊川茶碗	銘田子月	238
	東京国立博物館蔵	
鬼熊川茶碗	銘薄柿	241
	愛知・昭和美術館蔵	
大徳寺呉器茶碗	銘開山	244
紅葉呉器茶碗		248
	泉屋博古館東京蔵	
紅葉呉器茶碗	銘美吉野	252
錐呉器茶碗	銘山井	258
錐呉器茶碗	張木	262
御所丸茶碗	銘かた田	302
	東京・畠山記念館蔵	
伊羅保片身替茶碗	千種伊羅保	306
伊羅保片身替茶碗	銘両国	310
伊羅保片身替茶碗	銘芦の屋	313
釘彫伊羅保茶碗	銘両彦	316
釘彫伊羅保茶碗	銘秋の山	320
	大阪・湯木美術館蔵	
釘彫伊羅保茶碗	銘嵯峨秋	324
釘彫伊羅保茶碗	銘玉たれ	327
釘彫伊羅保茶碗	銘蟻通	330
黄伊羅保茶碗	銘自得	333
黄伊羅保茶碗	銘橘	336
伊羅保茶碗	銘翁	340
彫三島茶碗		344
	大阪・湯木美術館蔵	
彫三島茶碗	銘木村	347
	東京国立博物館蔵	
金海茶碗	銘西王母	350

繪呉器茶碗		266
高麗茶碗	遠州高麗	270
高麗茶碗	銘一花	274
割高台茶碗	古手屋高麗	278
	東京・畠山記念館蔵	
割高台茶碗		282
	岐阜プラスチック工業株式会社蔵	
注文品の高麗茶碗		286
	御所丸・伊羅保・彫三島・金海	
御所丸茶碗	古田高麗	288
御所丸茶碗	銘藤田	292
	大阪・藤田美術館蔵	
御所丸茶碗	銘由貴	296
	大阪・湯木美術館蔵	
御所丸茶碗		299
	東京・三井記念美術館蔵	
金海洲浜形茶碗	銘藤浪	354
	京都・鹿苑寺蔵	
金海茶碗		357

第二章
茶人好みの高麗茶碗
狂言袴・御本・半使

狂言袴茶碗		362
御本雲鶴茶碗		366
	東京・五島美術館蔵	
御本立鶴茶碗	銘宇禰野	370
御本三島茶碗		384
	島根・田部美術館蔵	
御本茶碗	玄悦	387
御本茶碗	茂三	390
御本茶碗	銘氷	393

絵御本茶碗 弥平太 歌銘 村雲や	396	祭器を茶碗に見立てる	59	
絵御本松竹梅図茶碗	大阪・湯木美術館蔵	399	千家伝来の井戸茶碗	159
絵御本松竹梅図筒茶碗	東京・静嘉堂文庫美術館蔵	402	銘を楽しむ	197
絵御本茶碗	405	茶人の好みの種類名称	255	
半使茶碗 銘しのものめ	412	手本をもってつくらせた茶碗	374	
半使茶碗 銘 吉野山	415	遠州好みの茶碗	408	
半使片身替茶碗	418	総論 高麗茶碗の種類と特徴	430	
本手半使茶碗	東京・静嘉堂文庫美術館蔵	421	降矢哲男	
絵半使割高台茶碗	大阪・藤田美術館蔵	424	収録した茶碗を所蔵する美術館ガイド	453
半使茶碗	427	主要な参考文献	462	

装訂・レイアウト 鷺草デザイン事務所

凡例

- ・本書で取り上げる茶碗は、主に朝鮮半島において朝鮮時代（14～17世紀）に製作された高麗茶碗である。そのなかから、見立て（狂言袴・三島・刷毛目・粉引・堅手・雨漏堅手・雨漏・井戸・井戸脇・蕎麦・斗々屋・柿の蒂・玉子手・熊川・呉器・高麗・朝高台）と注文品（御所丸・伊羅保・彫三島・金海）、茶人好み（狂言袴・御本・半使）に分けて掲載した。
- ・茶碗の選定は、監修者（赤沼多佳・竹内順一・谷晃）による指導のもと、責任編集者（降矢哲男）がおこない、所蔵先の許諾のあった作品を掲載する。
- ・茶碗の名称は、原則として所蔵先と協議のうえ、責任編集者が決定した。
- ・作品情報は、指定、所蔵先名（個人名は省略）、製作年代、計測値の順で、確定できる内容に限り掲載した。
- ・計測値（高さ・口径・胴径・高台径・重量）は、原則として執筆担当者が計測したものを表記した。
- ・英文は、作品名、製作年代、所蔵先名、指定の順で掲載した。
- ・茶碗の正面は、原則として所蔵先と協議のうえ、執筆担当者が決定した。側面に関しては、正面に向かって右側を右側面、左側を左側面と表記した。
- ・掲載図版は、できる限り新規に撮影したが、所蔵先などから提供を受けたものもある。下記の撮影者と写真提供先のうち、掲載頁を明記していない図版はすべて宮野正喜の撮影になる。
- ・茶碗の作品解説等の執筆は、降矢哲男、山田正樹が担当し、各文末に（ ）に入れて担当者名を記した。
- ・本文中に登場する人物名については、原則として氏・雅号のあとに（ ）に入れて本名・別号などを記し、生没年は適宜入れ込んだ。また、藩名に関しては、原則として国名のあとに記しているが、対馬国府中藩は対馬藩と略称している。
- ・「伝来」の情報は、直接移動したことが明白であるものは「―」、それ以外は「…」と表記した。その他の情報は、わかる限り忠実に掲載した。
- ・「付属品」のうち、御物袋に関しては原則として掲載を割愛した。
- ・「箱と箱書」に用いた表記のうち、／は改行、□は判読不明の文字を示す。箱書の筆者については、美術商（道具商）によるもの、筆者が不明なものは、原則として表記していない。

撮影
宮野 正喜
岡田 愛 (p.410 上段)
降矢 哲男 (p.448)

写真提供
表千家不審庵 (p.160) / 京都国立博物館 (p.410) / 相国寺承天閣美術館 (p.354～356) / 田部美術館 (p.384～386) / 茶道資料館 (p.44～45) / 根津美術館 (p.20～24・80～82・86～91・148～151・378) / 畠山記念館 (p.104～106・163・200～202・278～280・302～304) / ColBase [https://colbase.nich.go.jp/] (p.59・238～240・347～349) / 個人 (p.14～15・38～39)